

TOYOTA GAZOO Racing Yaris Cup 2022 西日本シリーズ第7戦 富士スピードウェイ



富士スピードウェイの特徴として、ストレートが長く、コース幅も広いので、普段岡山国際サーキットをメインに走行している北野は困惑気味でした。本人曰く『コース上で迷子になる』とのこと。本大会はエントリーが113台ととても多く、予選はA,B,Cの3組に分かれて行われることとなりました。

ヤリスカップ 2022 西日本シリーズ第7戦が10月22日に開催されましたので参戦してまいりました。今回よりドライバーは北野が担当します。1年半ぶりの富士スピードウェイで、和歌山からも遠く何度も練習に行くことが難しいため、木曜日よりサーキット入りし練習走行を開始しました。



予選時間は各組15分間のみで、コースインを含めると多くて5、6周にタイムを出す必要があります。朝一A組のため路温も低い状態で予選に臨んだアタック1周目にまさかのスピン。少ない時間の予選で1周を無駄にしてしまいましたが、落ち着いて残りの周回をアタックし、予選A組16位で通過することができました。



決勝レースは48番グリッドよりスタートとなり、スタートシグナルが見えるか見えないかの中レーススタート。序盤の横並びのレースを制し、徐々にポジションを上げ、最終34位でチェッカーとなりました。またポジションを14上げたことにより、ベストパフォーマンス賞をいただくことができました。

